

あくね 市議会だより

第4回定例会

第4回定例会総括……………	2
一般質問……………	7
議員と語る会……………	12



阿久根の食材「ななつ星」に採用

鶴翔高校では、今年度、日本ジビエ振興協議会理事長の藤木シェフ監修のもと阿久根の厳選食材を使った新商品「旨鹿GIBIER」を開発しました。この商品が平成29年1月からJR九州クルーズトレイン「ななつ星in九州」のバータイムに提供されることが決定し、1月18日に引き渡し式が行われました。

NO.192

平成29年2月15日
編集 / 広報広聴委員会
発行 / 阿久根市議会
TEL 0996-72-0815
FAX 0996-72-2029



阿久根市議会

第4回定例会

○市民交流センター工事請負費**8億4千万円**などを補正し、一般会計予算総額約**119億円**に ○番所丘公園及び阿久根大島公園の指定管理者を決定

平成28年第4回阿久根市議会定例会を平成28年12月2日から20日の日程で開きました。

初日は、平成27年度の決算について、決算特別委員長から審査報告があり、採決の結果、全会計について認定しました。

また今定例会では、条例改正や補正予算など16議案が提案され、このうち14議案を委員会に付託しました。

一般質問は、9名の議員が地域コミュニティ、市単独補助事業、交通災害共済事業、財政運営、議会費、市の活性化施策、災害時相互応援、渇水対策、旧国民宿舎の公募等について質問を行いました。また、12月9日からは予算委員会や常任委員会が開催され、各委員会に付託された議案を審査しました。

今回上程された議案は、番所丘公園や阿久根大島公園を、これまでの団体に、阿久根大島公園は2年間、番所丘公園は5年間、指定管理者に指定する案件や、特別職の国家公務員の給与改定に準じ、議員、市長等の期末手当に関する条例の改正、人事院勧告等に準じ、市職員の給与に関する条例の改正、また、現行の市奨学金制度に新たに入学一時金を貸し付けるための奨学金貸付条例の改正などの提案がありました。

補正予算では、市民交流センター建設費として今年度分の工事請負費

8億4千万円、低所得者に対する臨時福祉給付金1億1250万円、民間の保育園の保育所運営費2920万円や心身障がい者に対する扶助費、寺山住宅6号棟の工事請負費を追加したほか、学校給食センター業務委託、阿久根大島公園、番所丘公園の指定管理委託の債務負担行為などを可決しました。



指定管理者により運営されている番所丘公園

平成27年度の決算の内容

議会で認定された会計別決算内容（歳出総額）は、次の通りです。

- ・一般会計 123億4508万円
- ・国民健康保険特別会計 40億9954万円
- ・簡易水道特別会計 3億5709万円
- ・交通災害共済特別会計 726万円
- ・介護保険特別会計 28億9284万円

・後期高齢者医療特別会計 3億588万円

また、これらの会計以外に水道事業会計の収益的収支決算3億5943万円を認定しました。

27年度決算の主な内容

【太陽光発電・蓄電池及びLED設置事業】

防災拠点としての市庁舎が大規模災害等により被災し、電力停止となった場合に対処するため太陽光発電、蓄電池及びLED照明機器を設置した。（決算額…4087万円）

【生活保護費】

生活困窮世帯に対し必要な保護を行い自立を助ける制度。平成27年度は月平均158世帯と減少傾向にある。（決算額…3億9698万円）

【廃棄物及び資源化ごみ収集業務委託】

家庭から排出された可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみを収集運搬したほか、新たにへい獣処理及びイベントごみ収集運搬も追加した。（決算額…7769万円）

【有害鳥獣捕獲事業及びイノシシ肉流通対策事業】

捕獲協会に捕獲謝金、活動費の補助、イノシシ用捕獲器を貸与し、有害鳥獣の捕獲を実施。また、加工処理体制とジビエ肉としての流通体制を構築し、有害鳥獣による農林産物被害

の軽減と捕獲協会の捕獲活動及び運営の充実や後継者の育成を図った。

(決算額…4472万円)

【水産物流通対策事業】

外来船誘致活動や阿久根漁港に水揚げした漁獲物の鮮度保持のため水代の補助を行った。

(決算額…3353万円)

【ふるさと納税特産品発送業務委託】

ふるさと納税者に対する特産品の発送業務の委託料。27年度発送実績は2214件であった。

(決算額…1308万円)

決算特別委員会での審査内容

平成27年度決算審査について、10月4日から10月7日の4日間、審査を行い、所管課への質疑、現地調査及び総括質疑の後、討論に入り、表決の結果、一般会計は2名の委員から、国民健康保険特別会計は、1名の委員から反対討論があり、それぞれ採決の結果、賛成多数で認定すべきと決し、認定第3号から認定第7号までの5件は、全委員の一致をもって認定すべきものと決しました。

主な質疑・答弁について

問 生ごみ堆肥化処理モデル事業について、北薩広域行政事務組合に負担する可燃ごみ処理の負担金は平成25年度と比べ、どれくらい減額に

なったのか。

答 広域への負担金として、試算的には、合わせて1億円を超える分が減額になっている。

(所管課 市民環境課)

問 阿久根市の医療・福祉について全体でどれくらいの予算が必要か。

答 平成27年度の医療費の部分について、国民健康保険が29億2200万円、介護保険については、27億7100万円、後期高齢者医療保険については、47億5100万円余りで、国保・介護・後期高齢の医療費で、総額104億4500万円余りと考えている。

(所管課 健康増進課)

市長への総括質疑

問 阿久根市の公共工事の入札方法についての考え方はどうか。

答 分離発注については、メリット、デメリットを研究しながら考えていく。また今後、公平性、格付け等も踏まえて原則、阿久根市内の業者を優先して検討していく。



牟田 学
決算特別委員長

委員会報告

○予算委員会の主な内容

議案第52号 平成28年度一般会計補正予算(第3号)について

12月9日、所管課への質疑を行ったあと、現地調査(折多排水機場)を行い、討論に入り、1名の委員から反対討論がありました。1名の委員から賛成討論がありました。表決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

答 平成27年度の寄附金額2103万5千円のうち、800万円について、4つの事業に活用した。今後、商工観光課と連携、協議していく。

(所管課 企画調整課)

問 寺山住宅建設工事の変更後における工期と工事請負費はいくらか。

答 基礎工事の基礎杭の長さの変更が生じ、工期は、当初、29年3月31日までの契約だが、変更後は7月ごろになると考えている。工事金額は、当初2億7216万円が、3億200万円弱となる予定である。

(所管課 都市建設課)

議案第53号 平成28年度国民健康保険特別会計(第2号)、議案第54号 平成28年度介護保険特別会計(第1号)の2件については、全委員の一致をもって可決すべきものと決しました。

○総務文教委員会の主な内容

議案第42号 阿久根市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

審査の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

主な審査内容について

問 あくね応援寄附金について、なるべく早く使うことが、阿久根の振興につながると思うが。



折多排水機場での現地調査の様子

議案第43号 市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

審査の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第44号 一般職に属する職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

今回の改正を全国の全ての自治体が行った場合、阿久根市のラスパイレス指数は今と変わらないのか。

（所管課 総務課）

議案第45号 阿久根市奨学金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について

卒業後、原則1年以内に阿久根市に帰ってくるとする条件は厳しいように思うが、他市等の例を参考にされたのか。

県の入学奨学金を参考にした。あくまでも原則であり、詳細な条件については今後検討していく。

（所管課 教育総務課）

議案第46号 阿久根市税条例の一部を改正する条例の制定について、議案第47号 阿久根市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

ついで

現状で阿久根に居住されている方で影響がある方がいるか。

現時点では対象となる国が台湾に限られているため、今のところ影響を受ける方はいない。

（所管課 税務課）

以下の陳情2件、意見書1件は閉会中の継続審査となりました。

陳情第3号 鹿児島県知事に対し、九州電力に川内原発の免震重要棟の早期建設を求めるよう要請する意見書の採択を求める陳情

陳情第4号 九州電力に対し、川内原発の免震重要棟の早期建設を求める意見書の採択を求める陳情
意見書第1号 九州電力川内原子力発電所に免震重要棟を早急に建設することを求める意見書の提出について

○産業厚生委員会の主な内容

陳情第40号 番所丘公園の指定管理者の指定について

花の植栽、除草など管理が行き届いていないとの指摘がある。また施設の利用開始時間の9時半は遅い。早められないか。

公園管理については、徹底した管理がなされるよう指導していく。施設の利用開始時間については、公

園条例を改正する方向で検討する。

（所管課 都市建設課）

陳情第41号 大島公園の指定管理者の指定について

今回の応募は1社とのことだが今後、地元を中心に指定管理される団体を育成される考えはないか。

今後どう阿久根大島を活用していくのかなど、市民の方々と一緒に進めていきたいと考える。今後の協議でそのような方が出てくればと思っている。

（所管課 商工観光課）



指定管理を受けている阿久根大島公園

議案第48号 阿久根市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について

現在、阿久根市で本条例の対象となるような事業所があるのか。ま

た、誘致する考えはないか。

原子力関係の不均一課税の条例はあるが、今まで対象となった事業所はない。有利な制度だと思うので、そのような企業があればぜひ誘致したい。

（所管課 商工観光課）

陳情第9号 脇本海岸海の家の営業時間と営業内容の見直しに関する陳情について

海の家を設置する際、県への許可申請には、市の意見書を付けるが、地元住民の意見を聞かずに提出されたとの意見があったが。

現在は地元の意見を聞き提出しているが、以前、住民の意見を聞くのが後になってしまったのではないかと考える。来年、2件が更新予定だが、その際は前もって周辺住民と意見交換を行い、意見書を作成したい。

（所管課 商工観光課）

懲罰特別委員会を設置

12月7日の竹原信一議員の一般質問において、不適切な発言があったとして、12月20日の本会議において5名の議員から懲罰動議が提出され、8名の議員による懲罰特別委員会（濱崎國治委員長）を設置し、閉会中の継続審査としました。

平成28年第4回定例会 議案及び審議結果

番 号	内 容	結 果
認 定 第 1 号	平成27年度阿久根市歳入歳出決算認定について（一般会計）	認 定（多 数）
認 定 第 2 号	平成27年度阿久根市歳入歳出決算認定について（国民健康保険特別会計）	認 定（多 数）
認 定 第 3 号	平成27年度阿久根市歳入歳出決算認定について（簡易水道特別会計）	認 定（全 員）
認 定 第 4 号	平成27年度阿久根市歳入歳出決算認定について（交通災害共済特別会計）	認 定（全 員）
認 定 第 5 号	平成27年度阿久根市歳入歳出決算認定について（介護保険特別会計）	認 定（全 員）
認 定 第 6 号	平成27年度阿久根市歳入歳出決算認定について（後期高齢者医療特別会計）	認 定（全 員）
認 定 第 7 号	平成27年度阿久根市水道事業会計の決算の認定について	認 定（全 員）
議 案 第 39 号	市道路線の変更について	可 決（全 員）
議 案 第 40 号	番所丘公園の指定管理者の指定について	可 決（全 員）
議 案 第 41 号	阿久根大島公園の指定管理者の指定について	可 決（全 員）
議 案 第 42 号	阿久根市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決（多 数）
議 案 第 43 号	市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決（多 数）
議 案 第 44 号	一般職に属する職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決（多 数）
議 案 第 45 号	阿久根市奨学金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について	可 決（全 員）
議 案 第 46 号	阿久根市税条例の一部を改正する条例の制定について	可 決（全 員）
議 案 第 47 号	阿久根市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可 決（全 員）
議 案 第 48 号	阿久根市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について	可 決（全 員）
議 案 第 49 号	阿久根市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可 決（全 員）
議 案 第 50 号	阿久根市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決（全 員）
議 案 第 51 号	阿久根市農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定について	可 決（全 員）
議 案 第 52 号	平成28年度阿久根市一般会計補正予算（第3号）	可 決（多 数）
議 案 第 53 号	平成28年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可 決（全 員）
議 案 第 54 号	平成28年度阿久根市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可 決（全 員）
陳 情 第 9 号	脇本海岸海の家営業時間と営業内容の見直しに関する陳情	趣旨採択(全員)
意見書第5号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	可 決（多 数）
	竹原信一議員に対する懲罰の件	継 続 審 査

平成28年第4回定例会 議決結果（賛否が分かれた案件のみ）

議 案 名	議員名（議席番号順）																議決結果	討 論
	白石 純一	渡辺 久治	濱田 洋一	西田 数市	竹原 信一	仮屋園 一徳	竹原 恵美	野畑 直	中面 幸人	大田 重男	濱崎 國治	牟田 学	濱之上 大成	山田 勝	岩崎 健二	木下 孝行		
平成27年度阿久根市歳入歳出決算認定について（一般会計）	◇	◆	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	認定 反対：2 賛成：—	
平成27年度阿久根市歳入歳出決算認定について（国民健康保険特別会計）	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	認定 反対：1 賛成：—	
阿久根市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◇	欠	◇	◆	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◇	—	可決 反対：2 賛成：—	
市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◇	欠	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◇	—	可決 反対：2 賛成：—	
一般職に属する職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◇	欠	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決 反対：2 賛成：—	
平成28年度阿久根市一般会計補正予算（第3号）	◇	欠	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決 反対：1 賛成：—	
地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	◇	欠	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◆	◇	—	可決 反対：2 賛成：—	

※木下孝行議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。

（表の見方）◇は賛成、◆は反対、欠は欠席

討 論

今定例会で行われた議案に対する
討論の内容は次のとおりです。

▼歳入歳出決算認定（一般会計）

反対討論

・太陽光発電設備は災害時に確実に機能するとは言えず電力の生産性も低い。維持管理費等もかなり次世代へ負の遺産を増やしたものである。蓄電池設備の設置場所も一階にあり適切でない。

・卒業祝い金について、税のばらまきであり不適切な事業である。

・市民交流センターについて、誤った事業が執行され続けた結果、必要な経費が必要となった。

▼歳入歳出決算認定（国保特別会計）

反対討論

大川診療所の運営について、利用者が減少する中、多くの事業費を費やし漫然と運営を続けている。前年度からの改善も見られない。

▼阿久根市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論

市民の生活がよくなつてから自分たちの給料を上げるべき。現状では市民の理解は得られない。

▼市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論

報酬改定は、人事院勧告に従うのではなく、その人の能力、成果などに従うべきである。国の特別職の値を、地方の特別職に当てはめるのは時代に合っていない。

▼一般職に属する職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論

職員の人件費にお金がかかり過ぎている。国家公務員の給与体系を地方自治体が準ずる仕組み自体が時代に合っていない。

▼阿久根市奨学金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について

賛成討論

改正内容には賛成だが、具体的な運用については検討中ということであり、よく研究してほしい。

▼一般会計補正予算（第3号）

反対討論

阿久根市は設備を維持管理する能力がない。一回止めて見直すべきである。

▼地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

反対討論

若者のために議会の環境を整えるのは筋違いである。新たな財政負担をすべきではない。

より良い市政を目指して

一般質問

— 市政を問う —

平成28年第4回定例会では、9名の議員が一般質問を行いました。

【質問者】

(質問順)

- | | | |
|---|-------|----|
| ① | 渡辺 久治 | 議員 |
| ② | 野畑 直 | 議員 |
| ③ | 濱崎 國治 | 議員 |
| ④ | 山田 勝 | 議員 |
| ⑤ | 竹原 信一 | 議員 |
| ⑥ | 仮屋園一徳 | 議員 |
| ⑦ | 竹原 恵美 | 議員 |
| ⑧ | 中面 幸人 | 議員 |
| ⑨ | 白石 純一 | 議員 |

掲載内容については、それぞれの議員が行った一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者がまとめ、広報聴覚委員会が編集したものです。

問

有害鳥獣捕獲事業で、捕獲協会員から不満が上がっているが

答

憂慮すべき案件だ
お金の流れを把握する

電波法改正に対する今後の対策

渡辺 阿久根市有害鳥獣捕獲協会等に、市はどれくらいの補助金等を交付しているか。また、一般会員から同協会の運営方法に、不満が出ていると聞いているがどうか。

市長 平成27年度で、年間5千万円余りの補助金等を、同協会に交付している。また、市としては、関係者と協議を図る必要があると考える。

渡辺 同協会は、市執行部の再三に渡る収支報告書提出の勧告にも応じないようである。市としては、役員報酬等の費用が分かる財務諸表を早急に提出するよう、同協会に正式に要請すべきではないか。

市長 会員から、そういう不安の声が出ることは、憂慮すべき案件だと思う。役員報酬の明細やお金の流れは、市としても把握しておくべきだと考える。



いから阿久根



渡辺 久治 議員

渡辺 市では平成35年11月末をもつての35区が、デジタル方式への改修が必要になる。今後の対策は。

市長 親局や中継局は、区の戸数に応じて補助率を設定し、各家庭の戸別受信機は一世帯1万円を限度として補助をする。これにより一世帯当たりの負担は、概ね3万円以内となり、区によって著しい差が生じないようにした。この案をもって今後、協議していく。

渡辺 設置する機器を市の無償貸与とし、市の資産と負債でバランスを取る方法はどうか。

市長 市の資産が増える事は確かであるが、現実の負担が過大になることは避けるべきと考える。

渡辺 なるべく区民の不公平感が生じないように説明をお願いする。

問 有害鳥獣捕獲謝金は、市と国の二重補助ではないか

答 他市町でも単独補助を上乗せしている

野畑 市の単独補助をカットしたら何か不都合なことでもあるのか。

市長 集中的かつ効果的な対策との考えから捕獲者の熱意がなくなる恐れもあり他市町と足並みをそろえた。

野畑 イノシカ肉流通対策事業のうち、解体指導補助及び残渣処理費として過去3年で6900万円余りの補助額となっている。市の税収から考えると大きな金額であるが、これから先、何年補助される考えか。

市長 肉の流通量が向上する傾向にあり販売収益も増加すると思われるので、今後検討する。

野畑 有害鳥獣関係補助事業の平成27年度決算額は、市と国を合わせると5800万円余りである。各世代にバランスよく補助することを考えて、高校生までの医療費の無料化や高齢者の免許証返納対策に取り組む考えはないか。

市長 医療費の無料化は研究中である。免許証返納対策は県内19市の自主免許返納への優遇措置がないか調査中である。阿久根市としてはまだ具体的には考えていない。

平成27年度捕獲頭数

イノシシ	268頭
シカ	916頭



佐潟の旧ゴルフ場建設予定地について

野畑 市有地の土地利用の計画はあるか。

市長 民間資本が風車高121メートルの風力発電機を3基設置する計画がある。現在、風向き、風力などを調査するため風況塔の設置について関係機関と調整中である。



野畑 直 議員

問 運転免許証返納者への支援は

答 来年度に具体的な支援策を示す



濱崎 國治 議員

濱崎 高齢者による悲惨な交通事故が多発している。現在、活用できない交通災害共済事業の剰余金の有効活用として、自主返納された方のタクシー料金の割引などの制度をつくる考えはないか。

市長 交通事故防止対策として、自主返納は大きな課題であり、どのような活用方法がよいのか、今後実施に向け検討する。

濱崎 この剰余金を交通事故防止対策の一環として、各集落が設置している防犯灯などを整備するための補助事業に活用できないか。

市長 施設整備への活用は制度上可能と考える。来年度に具体的な実施方法や規模を示すようにしたい。

南九州西回り自動車道サービスエリア建設について

濱崎 阿久根商工会議所から南九州自動車道サービスエリア建設に関し、大規模な物産館等建設の請願書が提出され、市議会は請願の実現を図るため調査研究を行っている。市の取り組み状況は。

市長 他市の物産館設置状況の調査を行う物産館等構想庁内委員会を設置し、物産館等整備可能性調査業務の委託を行い、大川牛之浜地区、現在の道の駅「あくね」付近、阿久根北インター付近、阿久根漁港付近の4ヶ所の施設設置可能性を整理している。今後、外部を入れた基本構想、基本計画策定委員会を設置したい。



産業厚生委員会で視察した延岡市の「道の駅北川はゆま」

問 コンビニで指定販売した
バーベキュー大会のチケット枚数は

答 1650枚のうち、145枚である

山田 この大会の成果を阿久根市の創生にどのようにつなげたか。

市長 本市の地方創生元年と位置づけ、今回使用した華鶴和牛、豚肉、鶏肉、イノシシ・シカのジビエ肉、また使用した道具などできるだけ市内で調達し、その目的は達成できた。

山田 予算編成の時期だが来年度はどうするのか。

市長 このイベントが阿久根市の名物イベントとして定着するように今年度に劣らない規模で実施したい。

山田 市内の木炭、バーベキュー台を新設したが関係者の反応は。

市長 阿久根市の活性化に貢献できたと喜んでおられると聞いている。



バーベキュー大会で使用された市内産の木炭

山田 生産農家や関係市民が一緒に取り組まないと市民共有と感じないと思うが。



山田 勝 議員

市長 華鶴和牛は市内の4人の畜産農家が育てた5頭の肉を利用し会場でも紹介した。チケットも畜産関係者で87枚購入していただいた。この事業で畜産業に活力を与え、賑わいの創出と交流の輪を広げていきたい。

山田 総合体育館横の東側スペースは産業祭の荷物の搬入、駐車場として使われるが、冬の天気の良い日が続けば、ぬかるみになり関係者は苦労している。このままでは阿久根市の恥、何とかしてほしい。

市長 29年度の予算で整備する。



総合体育館東側のスペース

問 自分の年収まで上げる
市民に恥ずかしいと思わないか

答 私は人事院勧告に従う
公務を果たす



竹原 信一 議員

市の南日本放送株保有は権力の癒着ではないか

竹原 権力の相互監視が民主主義の基本だ。阿久根市が報道権力の株を保有するのは権力の癒着ではないか。

市長 放送事業者への干渉等を目的にしたものではない。

いかく阿久根や毘沙門太鼓の事業監視をおこたっているのか

竹原 いかく阿久根は経理の不正が疑われている。毘沙門太鼓の監査役を知っているか。保管場所が申請書と異なる。市長が直接確認をしないか。

市長 いかく阿久根はしっかりと審査したい。毘沙門太鼓の監査役は私の兄だ。補助金で買った太鼓については確認する必要性を感じない。

職員の昇給について

竹原 西平市長は毎年、定期昇給で職員給与を上げてきた。減給は一年

限りにするので自動的に戻る。毎年下げているように見えるが実際には毎年上げている。削減はウソだ。今回は給与表からの昇給で上がりっぱなしになる。嘱託職員は上げたのか。市民の理解が得られると思うか。

市長 嘱託職員は昇給しない。今回の昇給は人事院勧告に従う。厳しい意見があるので、職員と話をしながら独自の削減を続ける。

恥ずかしいのか

竹原 市長は自分の年収も上げる。市民に恥ずかしいとは思わないのか。

市長 私は人事院勧告に従う。公務を果たさなければならぬ。

竹原 政治家は良い思いをしようにと法律を決めたり給料を上げたりする。交流センターや図書館の重い負担を若者世代に押し付ける。こんな生き方をつなげてはいけない。



問 海岸線を生かした 市の活性化施策について

答 牛ノ浜駅周辺整備を検討中



仮屋園 一徳 議員

仮屋園 倉津から高之口までの荒廃地を含めた土地の活用計画は出来ないか。

市長 景観は良好な場所と理解しているが、3号線に沿った道路は幅員が狭小でカーブが多い。以前、道路改良も計画されたが、地元の反対が強く断念された。現段階での活用の計画は難しいと考える。

仮屋園 牛之浜などの風光明媚な海岸には景観地が少ない。公園化した展望箇所の設置はできないか。

市長 牛ノ浜駅周辺の、土地利用について事業効果を検討中である。

仮屋園 当地区は番所丘公園、旧国民宿舎も近くにあり、展望公園など含めた全体計画を作成される考えはないか。

市長 多額の費用を要することから現段階での計画は難しい。

合宿誘致の施策について

仮屋園 脇本・折口海岸近くに、合宿施設誘致用の土地確保、海水浴場、観光客用の大型駐車場、防風林を含む松林の増殖地などの全体計画を作成できないか。

市長 土地は個人所有であり、保安林など課題が多い。合宿に最適とは思。宿舎建設については、民間を活用した建設になると思うが、土地問題など課題も多い。

仮屋園 合宿誘致のため同海岸の整備と連携した総合グラウンドの全天候型への整備を計画出来ないのか。

市長 全天候型への改修は必要と理解するが、多額の費用がかかることから、他に大型事業を抱えており、現段階での着手は難しい。29年度は現状での陸上競技場の整備を計画している。



3キロにも及ぶ景勝地
脇本・折口海岸

問 各事業の原価と成果は どのようにして確認しているか

答 原価計算による個々の評価は 実施していない

竹原 市役所は原価管理の考え方が欠けている。時間当たりの賃金、事業の経費、受益者一人当たりの経費など原価管理を行って適切な事業の見直しを行ってほしい。

市長 原価意識は必要と思うが、事業ごとの原価計算は難しい面がある。
災害時の避難について

竹原 熊本県多良木町との災害時相互応援の協定はどのような内容か。
市長 大規模災害が発生し被災した時、必要な応援業務を円滑に実施しようとするものである。



竹原 現在、ヨウ素剤をすぐに配布できる状態にない。多良木町への避難者の一時受け入れや住宅のあっせんはすぐに対応可能か。

市長 今後協議を重ねて円滑な避難の確保等ができるように努めたい。
竹原 避難弱者、特に赤ちゃんの一時避難に対して踏み込んだ協議を行うことを要望する。

15歳から18歳までの医療費助成について

竹原 中学を卒業する生徒全員に配布する卒業祝い金は全国的には例がない。18歳までの医療費助成を近隣自治体は行っているが、どう考えているか。

市長 高校生までの医療費無料化について検討したが、効果や公平性、投資効果を考慮し、中学校の卒業生に商品券等の配布をした。特色ある事業を行っている認識している。

竹原 喜ばれるからと卒業祝い金を全員に配布し、年200万円を支出する事は権限の乱用であり、公益性を拡大解釈している。また、18歳までの医療費助成への市民の要望は少ないと認識しているのか。

市長 書面では受けていないが議会等で認識している。所得制限を設けることも含め、今後検討をしていく。



竹原 恵美 議員

問

トンネル掘削による高松ダムからの
水利用調査経過はどうなったか

答

県に確認したが、
防災ダムの水利用は認められていない



中面 幸人 議員

中面 平成15年第3回定例会の一般質問で、高松ダムから折口川水系の水田補給水としてトンネルを掘るとい、高松ダムの水利用について議論されているが、その後の経過はどうなったか。

市長 県に確認したが、現在において防災ダムの水利用は認められていない。ダムからの送水に伴う費用と比べ、各地域の実情に合わせ井戸やパイプラインで整備した方が、維持管理等を含めコスト削減になる。

中面 内田区のほ場は、中山間地域総合整備事業で基盤整備されたが、水田への給水は旧態依然である。受益者負担のない用水確保のかんがい方法はないか。

市長 農地や農業用の水路整備については、受益者が特定でき私的財産を対象とすることから、受益者の負担が必要である。



多田地区の
立枯れ稲の刈払い状況

中面 高齢化が進み、耕作も難しい受益者にとっては、かんがい設備工事へのさらなる受益者負担は非常に重いものがある。水田耕作の用水確保は不可欠であり、担い手確保からも効率の良いほ場でないと、認定農業業者や農業法人は来てくれない。多額の補助を受け整備されたほ場を、将来耕作放棄地にすることなく地域の環境を守っていくためにもいい解決策はないか。

農政課長 上流側の水利組合との共同井戸利用や、新たな水源を確保するなど、最も負担金の少ない事業を考え、県とも調整したいと思っており、まずは地域で水利組合を立ち上げていただき十分な協議をお願いしたい。

問

旧国民宿舎公募の見通しは

答

熊本地震後の観光状況を見極めたい



白石 純一 議員

白石 今後の公募の見通しは。

市長 観光の改善状況を見極めたい。公募の募集過程や審査過程に

白石 民間の不動産開発や建築・ホテルの専門家を入れたり、提案説明を公開で行うなど、取引の市場性、審査の透明性を高める努力はできないか。

市長 必要に応じ専門家の意見を聞くなど検討したい。

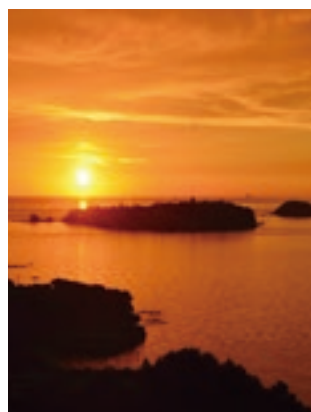
白石 新たな施設の経営主体に市は出資する考えはないか。

市長 公益的面から関与の必要性、財政面など総合的判断の余地もある。

白石 昨年の市内応募業者が募集条件を満たさなかった点は。

市長 公的負担による耐震工事または解体工事、市への出資依頼などが募集条件と合致していなかった。

白石 前向きな県外事業者があったようだが、同事業者の現在の意向は。引続き意見交換は行っている。



世界に誇れる観光資源

白石 世界にも誇り得る当立地に必要施設のビジョンを市が提示し、それに沿った公募を実施すべきでは。

市長 中核的観光保養施設として機能確保のため、現在同様の宿泊規模を有することなどを条件としたい。

その他の質問・要望

・2年後、大河ドラマで西郷どん、明治維新150年で観光の好機へ、記念事業、歴史遺産の保存、PRを。
・ローカルサミットで縁があるバットのまち富山県南砺市（阿久根はグロープ）や、ロータリークラブ交流あり文旦発祥の地と言われる台湾台南市の善化区等、国内外の自治体と姉妹・友好都市提携をし、子供たちを含む人的・経済的交流を促進できないか。

第5回「議員と語る会」

市内12地区、2団体と開催

5回目となる「議員と語る会」を、昨年10月18日から20日、23日の日曜日の4日間、市内12カ所で開催しました。また、各団体との意見交換会を、阿久根市文化協会、阿久根市体育協会の2団体と開催しました。議員と語る会の内容について報告します。

1 開催日・参加者数・会場

◎10月18日

- ・大川15名（大川小学校講堂）
- ・西目5名（西目構造改善センター）
- ・阿久根南18名（市民会館）



にぎわい交流館阿久根駅（1班）

◎10月19日

- ・折多17名（折多地区集会施設）
- ・隼人17名（小瀬公民館）
- ・田代11名（山村開発センター）
- ◎10月20日
- ・山下13名（新城公民館）
- ・尾崎、弓木野19名（弓木野公民館）
- ・赤瀬川14名（陸上競技場管理棟）
- ◎10月23日
- ・阿久根北16名（阿久根駅）
- ・鶴川内10名（鶴川内地区集会施設）
- ・脇本17名（脇本地区公民館）



小瀬公民館（2班）

2 議会からの報告内容

- ① 旧阿久根高校跡地活用についての経緯と議会の取組
- ② 市民交流センター等建設計画

3 意見交換のテーマ

- ① 議会報告に対する意見要望
- ② 各地域が抱える課題等
- ③ 市政・議会に対する意見要望
- ④ 旧国民宿舎の状況について
- ⑤ 区への加入状況について



陸上競技場管理棟（3班）

4 各地区での主な意見・要望

※主なものについて執行部からの回答を掲載します。

予算・計画

問 旧国民宿舎の公募は熊本地震の影響で観光に一定の改善が見られるまでとあるが、一定の改善とはいったのか。

答 九州の観光を取り巻く状況は改善の兆しが見えているが、もう少し状況を見極めたい。公募に当たっては、市の中核的な観光宿泊保養施設としての機能を確保することを目的

に、現在の施設と同様の宿泊規模、また地域貢献や本市の活性化に向けての積極的な取組を行う等を公募条件として設定したい。（財政課）

問 西回り自動車道のサービスエリア設置構想について伺いたい。

答 昨年度、庁内検討委員会を設置し、物産館等の整備可能性や課題を検討し、基本的な考え方をとりまとめ、整備候補地の課題等が明らかになった。今後、観光まちづくり戦略との整合性を図り、推進体制を含め、基本構想・基本計画策定に向け、どのように合意形成を図っていくか検討予定である。

（商工観光課・都市建設課）

防災

問 公民館に避難する場合、非常用発電機の整備も必要であり、整備のための補助はないのか。また水や毛布など備蓄品の配置はできないか。

答 発電機等の整備に対する補助制度はないが、地域づくり活動支援補助制度の利用は可能と考えている。また、市指定避難所では毛布を配布することとしており、引き続き避難の状況に応じて支援を行っていく。

（総務課）

観光

問 「アクネうまいネ自然だネ」の観光看板が無くなった理由は何か。

問 国道3号沿い(大川と大林付近)の大型看板は、設置してから20年以上経過し、平成27年の台風で破損し、撤去も含め検討した。市の情報発信として、自然の豊かさをPRでき、車で通過する際に視認性の高いものを考え、黒之瀬戸、脇本海岸、牛之浜景勝地、阿久根大島の4か所の写真を選定した。
(商工観光課)

環境

問 新焼却場施設の污水対策はどうなっているのか。

答 ごみ処理施設から発生する污水は、施設内で処理後、冷却水として再利用し河川への放流は行わない。最終処分場から発生する浸出水は、浸出水処理施設で処理後、防災調整池を経由し河川放流する。今後、北薩広域行政事務組合と連携し、地域住民に安心していただけるよう努めていく。
(市民環境課)

道路

問 道路沿いの樹木の枝打ちを進めてほしい。枝が高い位置にあり地域では対処できない。

答 市道敷地の樹木は都市建設課に要望があれば対応する。個人敷地の樹木は基本的に地権者に伐木を依頼していただいているが、個人で対応

できない方もおり、通行人や通行車両等の支障になる場合に限り、地権者の許可をいただき、市が伐採を行っている。
(都市建設課)

福祉

問 大川地区への小規模多機能型居宅介護施設について、早期に作るように要望する。

答 市の第6期高齢者保健福祉計画で、西目・大川地区に小規模多機能型事業所を1か所整備するとしており、平成27年度から3回、事業所を公募した。数件の問い合わせ等はあるが、土地やスタッフの確保が難しい等の理由で応募に至っていない。平成29年度も公募予定であり、応募があつた場合は速やかに施設整備ができるよう取り組んでいく。
(健康増進課)

行政

問 区の未加入者対策を強化してほしい。

答 区は、地域住民のコミュニティの最少単位で、安心・安全を維持・確保していく上で必要不可欠なもので、区に対し市から地域づくり活動に対する補助金の交付などを行っている。それらの活動の充実を図ることで区加入の必要性についての理解を深めることにつながると考えており、今後も未加入者への加入促進を

図っていききたい。
(総務課)

5 団体との意見交換会の内容 ◎阿久根市文化協会(11月30日)



市文化協会(参加者19名)

◇文化協会からの主な意見・要望

- ・市民交流センター完成後、使用料が今までと変わらないか心配である。
- ・文化協会の協会員も高齢化している。各種行事への参加者も高齢化していることを危惧する。
- ・市民交流センター建設後は、文化協会もいろんな協力をしたいが、ボランティア等はどうになるのか。文化協会を活用してもらいたい。
- ・図書館についても早急に建設をお願いする。

◎阿久根市体育協会(1月19日)

- ◇体育協会からの主な意見・要望
- ・陸上競技場は、今年の10月で4種

公認の期間が切れる。引き続き公認がとれるよう今年の事業に入れてもらいたい。

- ・総合体育館の2階の卓球室の水銀灯が半分くらい切れて練習にも支障がある。明るくしてもらいたい。
- ・単協ごとに施設管理者とヒアリングする機会を持つてほしい。
- ・総合体育館は駐車場から遠く、道具運搬等に不便、後ろか横に駐車場を作つてほしい。またB&G体育館近くの道路を挟んだ駐車場の舗装をお願いする。
- ・B&Gプールは改修をしてもらい公認で素晴らしいものができたが、外壁にスレートが使われており、冬は、水温は高いが、室温が7℃8度の状態で練習している。事前に調査して改修をお願いしたい。



市体育協会(参加者17名)

議員と語る会の詳細な内容は市議会のホームページをご覧ください。

○議会のうごき（11月～1月）

12月 					
14日	12日	9日	8日	7日	2日
議会運営委員会	産業厚生委員会	総務文教委員会	予算委員会	本会議（一般質問）	全員協議会

11月 					
30日	25日	22日	15日	14日	10日
議員と語る会（文化協会）	議会運営委員会	議会運営委員会	総務文教委員会所管事務調査（16日まで）	肥薩おれんじ鉄道活性化議員連盟による中央要望活動	小規模市議長会による中央要望



防災計画についての所管事務調査（掛川市）

1月 					
25日	24日	20日	19日	18日	17日
産業厚生委員会	議会運営委員会	出水地区市町議会議員研修会	議員と語る会（体育協会）	広報広聴委員会	（指宿市）

12月
20日
全員協議会 本会議（報告・表決） 懲罰特別委員会 地方創生に関する調査特別委員会

平成29年第1回定例会の予定

- ・ 2月27日
本会議（提案説明、質疑等）
- ・ 2月28日～3月2日
委員会（補正予算等審査）
- ・ 3月3日
本会議（当初予算への質疑）
- ・ 3月8日
本会議（補正予算表決）
- ・ 3月9日～10日
本会議（一般質問）
- ・ 3月13日、15日～17日
委員会（当初予算等審査）
- ・ 3月27日
本会議（当初予算等表決）

議会を傍聴しませんか。

市議会は、市の予算や施策について話し合い、決定する大切な場所です。
ぜひ傍聴にお越しください。

学校の社会科見学やPTA、各種団体等の研修でも傍聴できます。

編集後記

市民交流センターの建設が始まります。市民の文化活動や交流の拠点として、多くの市民の方々の利活用が期待されます。

市議会は、2月末から平成29年度の予算等の審議を行い、4月から1年間の市政の方針を決定します。

広報広聴委員会は、市議会、だよりの発行や議員と語る会などを通じて、議会からの広報や広聴に努めて来ましたが、語る会の出席者からは、市議会だよりをよく見ているとの回答が寄せられましたが、更に多くの方々に見て読んでもらうための紙面づくりや市民の意見を聴く活動を進め、市議会の活性化を図って行きます。

（委員長 濱崎 國治）

発行責任者

議長 木下 孝行
副議長 濱崎 國治
委員 白田 純一
委員 渡辺 久治
委員 濱田 洋一
委員 竹原 信一
委員 飯屋 徳一